戴帽式

衛生看護科二年

九月十九日（土）戴帽式が図書館棟二階で行われた。衛生看護科2年生29名は憧れのナースキャップを授けられ、決意を新たにした。戴帽式を終えての感想を取材した。

戴帽式を終えて

2年8組　中妻　陽菜

九月十九日、私たち二十九名は無事に戴帽式を迎えることができました。私たちが戴帽式を迎えることができたのは、ご出席いただきました香川労災病院看護部長様を始め、ここまで支えてくださった校長先生・諸先生方、どんな時も暖かく見守って下さった家族のおかげだと、戴帽生一同、心より感謝いたします。

この戴帽式を迎えるまでたくさんの練習を重ねてきました。

まず、戴帽式で行われるナイチンゲール誓詞朗唱に向けて、ナイチンゲール誓詞とは、どのような言葉なのか、その言葉を理解することから始めました。命の尊厳とは何か、正しい薬の使い方、個人情報の扱い方、どんな看護者であるべきかなど、看護を提供する上で大切なことがすべて詰まっています。私たちはそれらを頭に入れて、本格的な練習が始まりました。

途中四、五月は学校が休校となりましたが、その間はオンラインで、班でナイチンゲール誓詞を朗唱し、オンラインによる暗唱テストも何回か行われました。

夏休みが明け、戴帽式の練習が本格的になりました。しかし、私たちはまだ緊張感がなく、思うように練習は進みませんでした。そこで進行係が、練習計画を作成し、それを実行していきました。

戴帽式が近づくにつれて、少しずつ気持ちに変化が見られるようになりました。本番一週間前には、起立のタイミングや、歩くスピードを揃えたり、お辞儀の仕方・角度を確認したりしました。またナースキャップや蠟燭・灯りの頂き方、角の曲がり方などたくさんの所作を学びました。これらの所作を何度も練習を重ねて、細かいところまで揃うようになりました。ナイチンゲール誓詞は、暗唱するだけでなく、強弱やアクセントなどまで着目して練習を重ねました。

本番前日には、先輩方から実体験を踏まえたアドバイスを頂き、本番は落ち着いて迎えることができました。

この戴帽式を通して、たくさんのことを学ぶことができました。この経験・学びを2年生の十二日間・3年生の四十二日間の実習で生かしていきたいと思います。

作文紹介

本校衛生看護科は昭和四十一年に創設されこれまでに約三千五百名余りの卒業生を輩出してきた。ところで「高校生のなりたい職業ランキング2020」でJK（女子高生）一位に輝いたのは「看護師」。不動の人気を誇る。なぜ「看護師」を目指すのか。その理由を考えるにあたって、今回戴帽式を迎え、看護師への第一歩を踏み出した二年生の作文を紹介します。

助け合いで生まれたもの

二年八組　土岐　優実

私には忘れられない少年がいます。その少年は足に麻痺があり車椅子に乗っていました。私は中学の入学式で初めて彼を見た時「車椅子に乗っている人がいるな。」と思っただけで、これから彼と関わっていくことになり、そのことで私が自分の夢を見つけられるようになるとは全く思っていませんでした。

入学式が終わり、教室で席順を見て驚きました。私の席はクラスの一番後ろで、なんとあの車椅子の彼と隣の席だったのです。私は心の中で「うそでしょ。車椅子の子と隣なんだ。嫌だな。」と思ってしまいました。今思えば彼を偏見の眼でみてしまっていたのでしょう。

入学式から2か月が過ぎ運動会の時期がやってきました。一年生はムカデ競争をすることになりました。クラス全員足に手ぬぐいを結んで走るのですが彼の足を結ぶことは難しいため、彼には列の一番後ろでひもを手で持ってもらい一緒に走ることになりました。しかし、実際やってみると車椅子に紐が引っ掛かって転倒し、ほかのクラスのように止れませんでした。何度練習をしてもうまくいかないまま運動会の練習最終日がやってきました。

みんなやる気がなくクラスの団結力もなくなってきました。その時、車椅子の彼が「僕のせいでみんなが上手く練習ができないのやろ。僕、もう見学でいいよ。」と言いました。私はその言葉を聞きクラスで一番苦しんでいたのは、車椅子の彼だったことに気づきました。

それから、クラスのみんなでどうしたら彼に負担をかけずに運動会を楽しんでもらえるか必死で考えました。そして、車椅子を転倒しないように支える人を作りました。その結果、運動会では転倒することもなく走り切れました。この時私は、とても達成感を感じました。身体が不自由な人や弱っている人に対してちょっとした工夫で生活が大きく変えられるのではないかと考え、将来はそうした仕事に就きたいと考えました。その時、看護師になるという明確な夢が出来たのです。

そして現在高校生になり看護師という夢にどんどん近づいています。学校では看護の専門知識を学んだり老人ホームなどに実習に行ったりして、とても充実した毎日を過ごしています。

しかし、ふと本当に看護師になれるのだろうかと不安になることがあります。一歩間違えば、患者さんを危険にさらしてしまうこの仕事を責任をもって行うことができるのかとても怖くなります。

そんな時、私はいつも中学生のあの頃を思い出すのです。彼がどうすれば快適に学校生活を送ることができるのかとただひたすら考えていた自分を。それは、私が看護師を目指した原点です。看護師になっても患者さんのことをしっかり観察し患者さんとコミュニケーションを取り、その患者さんの気持ちになって行動すればきっと乗り越えられると考えます。

私は彼と初めて出会ったときに、偏見の眼で見てしまったことを申し訳なかったと反省すると同時にそんな私を百八十度変え夢を見つけるきっかけを作ってくれた彼には感謝しかありません。

九月には戴帽式があり、現在ナイチンゲール誓詞を覚えたり所作を学んだりしています。この戴帽式が終わると本格的な実習に入ります。その実習で更に多くのことを学ぶために、自分自身の健康に留意し、仲間とのコミュニケーションを大事にしながら勉強を頑張っていきたいと考えます。

新任職員紹介

青山　剛　先生

①社会
②昭和58年10月9日
③趣味　スポーツ観戦
特技　絵を描くこと
④・学校が綺麗、設備が整っている。
・生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれる。
⑤「常に謙虚」に一日一日頑張ります。

佐々木　千紘　先生

①看護科
②平成8年10月8日
③カフェ巡り
④・文武両道
・ICT環境がすごい
⑤将来産婦人科で働きたいという生徒が増えるように。お母さん・ベビーちゃんの素晴らしさを伝えられる。

石橋　良太　先生

①英語科
②平成9年7月4日
③ギター・料理
④・生徒の個別指導が充実している。放課後の居残り学習や尽誠塾など。文武両道。
・ICT教育。全教室に電子黒板が設置され、休業期間中はオンラインで初の授業を迎えました。
⑤本校の特進コースの英語を変えること。本校は部活動に所属する生徒や寮生が多いため、メリハリのついた学習習慣を身につけさせることが大切と考えます。母校誠陵中学校・高等学校に負けないよう、生徒に文武両道を目指して取り組ませていきたいです。

質問事項
①教科など
②生年月日・出身地
③趣味
④本校の印象
⑤抱負

交通安全教室

十月九日（金）6限目にオンラインによる交通安全教室が行われました。善通寺警察署の方が講演されました。

まず「今年の県下の交通事故の発生状況」について説明の後、本校の二人の先生が歩行者のモデルとなって実験が行われました。歩行者が反射材を装着した場合、60mぐらい手前で気付いてもらえるということでした。黒い服と白い服の見え方も実験しました。

次に「自転車での交通事故の防止対策」について、自転車は車両であり車道左側通行が原則、などの確認が行われました。「事故を防ぐ、被害を軽減させるための注意点」として車・自転車の整備、シートベルトや反射材の装着などがありました。DVDも用意されていて、車の前後を歩かない、斜めに横断しないなどの注意がありました。

最後に「交通事故に遭った時の措置」について、119番、110番の順の連絡や、どんな軽い事故でも必ず警察に届けること、と言われました。

人権・同和教育

十月十六日金曜日、LHRの時間に人権・同和教育のビデオを視聴しました。

『りんごの色～LGBTを知っていますか～』は、LGBTの問題を取り上げ、同性の友達と男子高生から告白された女子高生は、どうしたらいいのか悩むが、実際に当事者の意見を聞くなかで、いろいろな考えを受け止め、自分の気持ちをしっかり持つことの大切さに気付き、所属している演劇部の発表会を通じて、それをみんなに呼びかける内容でした。

『ベティーの色鉛筆』は、肌の色による差別を扱い、「色が黒いからお姫様にはなれない」と嘆く日本に住む黒人の女の子に、同じくアジア出身の青年が、かつて小学校の弁当の時間、見かけで差別されそうだったのが、その中身のおいしさで差別を吹き飛ばした思い出を語り、女の子を勇気づけるお話でした。

生徒が寄せてくれた感想を紹介します。

『りんごの色
～LGBTを知っていますか～』
・LGBTの人が当事者ではなくて、一人ひとりが当事者であること。
・ビデオの主人公のように自分の気持ちを大事にして、接していきたい。
・今までLGBTの人とは出会ったことがなく、自分が全く知識を持っていなかったことに気付いた。
・LGBTは知識としては知っていたが、いざとなると、自分はどう振る舞うのか、考えさせられた。
・LGBTを打ち明けられない人がたくさんいることが分かった。
・周りにLGBTの人がいるかもしれないので言動に注意したい。
・LGBTは個性の一つであること。
・人を好きになるのに、男も女もないと思う。

『ベティーの色鉛筆』
・肌色という言葉が差別用語だということがわかった。
・人と違うことは恥ずかしいことではない。
・この世の中に「普通」はないこと。
・一人ひとりが違うこの世の中でみんなが自分を出せるように、お互いに違いを認めあうことが大事だと分かりました。
・これから日本にはますます多くの外国人が来ると思います。その時、肌の色や文化で差別をせず、相手とコミュニケーションをとり、その人を理解することが大切だと思います。
・私は将来青年海外協力隊員になりたいと思っています。肌の色・食べ物・文化…それぞれ違いますが、みんな違ってみんないいんだと教えてあげたいです。

令和2年度香川県大会優勝
2020甲子園高校野球交流試合 対智辯和歌山

野球部

野球部　主将
三年二組　菊地　柚

私たち野球部は出場が決定していた春のセンバツ大会、そして、夏の甲子園大会までも中止となってしまい、これまで感じたことのないくらい悔しい思いをしました。正直、夏の甲子園大会が中止となった時は、何の為に練習していたのかと思うこともありました。そんな中、県の独自大会、甲子園交流大会開催の連絡を受けました。その話を聞いた時は絶対に独自大会はぶっちぎりで優勝して、そのままの勢いで甲子園に乗り込もうと思っていました。

県の独自大会では、今までしてきたことを信じ、目の前の試合に集中して臨みました。決勝戦まではすべてコールド勝ちで勝ち上がることができました。決勝戦で戦った高松商業は絶対に負けてはいけない相手でした。高松商業の選手の態度を見て一気に全員スイッチが入りました。試合前の「本気の声出し」では、これまでで一番最高な声出しができました。気持ちが入っても、いつも通りの平常心を保つことを意識していました。5−0で宣言通り「ぶっちぎり優勝」という目標を達成することができました。その勢いで甲子園に乗りこむことになりました。対戦までの日々は、相手の強豪、智辯和歌山の研究をして臨みました。相手の選手は投打ともに自分たちより能力が高いと思い、全員が束となって向かうことができました。マシーンを150kmに設定して速い球に慣れる練習をしました。

兵庫県のホテルに着いてからは本当に明日甲子園で試合をするという実感がありませんでした。試合の日の夜は、全員で素振りをし、明日はこのチームでできる最後の試合だから最後は勝って笑って終わろうと声をかけ、準備万端で試合に臨むことができました。バスで移動している間はとてもワクワクしていました。甲子園に近づくにつれて、とても気持ちが入りました。甲子園球場に入った瞬間は本当に興奮しました。グラウンドもとても守りやすかったです。

試合ではベンチとスタンド、全員が一つとなることができました。試合に出ている選手だけでなくその選手をサポートしてくれていた人がいたからこそ目標通り智辯和歌山を圧倒できたんだと思います。最後は一標通り、勝って、笑って終わることができました。尽誠学園野球部を支えてくださった人、応援してくださった人、このような状況でも大好きな野球が最高の仲間とできたことに感謝しています。

讃岐もち麦ダイシモチレシピコンテスト参加
家庭部に聞く！

善通寺市にある農業研究センターで、1997年に「もち麦」が開発された。弘法大師生誕の地にちなんで「ダイシモチ」と名付けられた。食物繊維を豊富に含み、美容・健康に良いと話題になり、善通寺市を代表する特産品となっている。そのダイシモチを使った「讃岐もち麦ダイシモチレシピコンテスト」が開かれ、本校の家庭部が参加し、優秀賞を受賞した。その感想を聞いた。

二年六組　出石　もも

私たち家庭部はダイシモチレシピコンテストに参加しました。このコンテストは、善通寺の特産品であるダイシモチというもち麦を使ったレシピを考えるものでした。

私が作ったのは、「簡単ダイシモチ麦入りミートパイ」でした。ミートパイの具の中にダイシモチと合いびき肉を入れ、彩りを良くするために細かく切った野菜を混ぜました。

このレシピを作る上で意識したことは、ダイシモチのプチプチした食感を生かすことです。ダイシモチをそのまま具として入れることで、この食感が引き立ちきました。それをパイシートで包むと、パイシートの滑らかな食感と、プチプチの食感を同時に味わうことができました。

もう一つ、意識したことは、ダイシモチの味です。味は無味に近く、そのまま混ぜてしまうと、他の具材の味を薄めてしまいます。そこで調味料の量を多めにして、味を調整しました。

この二つのことを考えながらミートパイを、ダイシモチの良さを出しながら作ることができて良かったです。

「簡単ダイシモチ麦入りミートパイ」

新部誕生
演劇部紹介

今年本校に演劇部が誕生した。その様子を取材した。

Q1 部員数は？
A 七人です。

Q2 活動日、時間は？
A 月・火・水・木です。発表会前は土日も。時間帯は十五時三十分から十八時までです。

Q3 練習場所は？
A 誠之館一階旧図書館です。

Q4 練習内容は？
A 普段は発声練習や即劇をしています。発表会前は台本を使って練習します。全員演劇はまだまだ、和気あいあい、楽しんでやっています。

Q5 発表の場は？
A 香川県高等学校総合文化祭（10月22～25日）に出場しました。奨励賞を受賞しました。

Q6 顧問の先生一言お願いします。
A 何とか本番を迎えられて良かった。これからは創作台本（既製台本と違って台詞・演出等を自分たちで作るもの）をやりたいと思っています。

演劇部部長
二年四組　三木　亜衣梨

演劇部は、今年創部しました。創部したての頃は、全ての部員が初心者であること、技術や知恵を教えてくださる先輩がいないなどといったことがあり、何もかもが手探り状態でした。

そこでインターネットで公演を視聴したり、他校の練習の様子を参考にして日々練習を重ねていくにつれて、少しずつではありますが、目的を理解し、自ら行動を起こすことができるようになりました。

夏休みに入ると10月の県大会にむけた練習が始まりました。出場するからには上位を目指そうという目標ができ部員全員に気合いが入りました。各自演劇について調べ、学んだことを共有し、よりよいものを作ろうと努力しました。

そして迎えた本番。出演者の二人は慣れない舞台上で、いつもの練習のように正しい発声ができず、声が大きく出せなかったり、覚えたと思っていたセリフもすぐに思い出せなかったり、なかなか思い通りにはいきませんでした。

しかし奨励賞を取ることができ、本当にびっくりしました。初めての発表の場では失敗もありましたが、それ以上に学んだことが多くありました。

運動部戦績（8月～10月）

卓球部
県高校総体（代替大会）（8月）
（シングルス）
男子
準優勝　吉田　圭佑
ベスト4　長谷川脇也
女子
準優勝　成瀬　結菜
ベスト4　前山　美南

野球部
県高等学校野球大会（7月）
二回戦　8−1三本松（8回コールド）
三回戦　8−0高松（8回コールド）
準々決勝1−4桜井（7回コールド）
準決勝　15−0丸亀城西（5回コールド）
決　勝　5−0高松商業
甲子園高校野球交流試合（8月）
8−1智辯和歌山
秋季四国地区高等学校野球香川県大会（10月）
二回戦　8−1高松工芸（8回コールド）
三回戦　7−2香川西
準々決勝5−10大手前高松

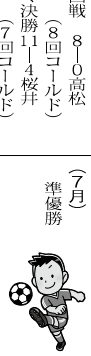
バスケットボール部男子
県高校総体（代替大会）（7月）
Aブロック
二回戦　80−27琴平
三回戦　97−10大手前
ブロック決勝　73−35高専高松
Aブロック優勝

ソフトテニス部男子
県高校総体（代替大会）（8月）
優　勝　米川結翔・大辻伸彬
準優勝　大野晃弥・湯川　嶺
3　位　四位光太・安井柏透
上村純也・松本翔太
県高校夏季大会（8月）
優　勝　宮本颯人・源川大遥
準優勝　岩田皓平・上田泰大
3　位　岩崎絢哉・斎明寺慶
中川雄太・黒坂卓矢

ソフトテニス部女子
県高校総体（代替大会）（7月）
優　勝　中本明花・髙橋ひかる
準優勝　山上莉沙・西尾葉奈
夏季強化大会（8月）
（シングルス）
男子
優　勝　吉田　圭佑
準優勝　大恵　健人
女子
準優勝　前山　美南
3　位　長尾　結衣
ベスト4　森　菜由希

陸上部
県高校総体（代替大会）（7月）
三千m障害三位　平野　凜
県高校夏季大会（8月）
（個人）
優　勝　寺島さら・山下日子
準優勝　中本明花・髙橋ひかる
3　位　松岡流愛・田代愛翔
中谷梨恋・濱田光希

サッカー部
県高校総体（代替大会）（7月）
準優勝



バレーボール部男子
県高校総体（代替大会）（7月）
0−2三本松

バレーボール部女子
県高校総体（代替大会）（7月）
0−2三木

柔道部
県高校総体（代替大会）（7月）
（男子団体）
ベスト8
（男子個人）
100kg超級　3位　岡部　龍空

剣道部
県高校総体（代替大会）（7月）
団体　3位

編集後記

コロナに翻弄された日々だった。学校でも授業が飛び、大会・行事が消えた。人類は感染症との闘い、と言われてもすんなり受け入れられない人もいるだろう。しかし、人類はその闘いのなかでライフスタイルを変え、文明を発達させてきたとも言われる。学校ではICTが活発に使われるようになった。そして、一番よく分かったことは、当たり前は、当たり前でなかったことだ。